

会 議 録

会議の名称	西東京市図書館協議会 平成29年度第3回定例会
開催日時	平成30年1月18日（木）午後2時から4時30分まで
開催場所	田無公民館3階会議室
出席者	委員：小西会長、鈴木副会長 西村委員、山口委員、増田委員、山辺委員、山村委員、藤澤委員（欠席）清水委員、東山委員 事務局：中川館長、司城副館長、奈良庶務係長
傍聴者	なし
議 題	1 諸報告 2 図書館の運営体制のあり方の検討について 3 その他
会議資料の名称	西東京市図書館協議会平成29年度第2回臨時会会議録(案) 資料1 中央図書館・田無公民館の検討結果について 資料2 西東京市公民館・図書館の施設整備について（平成18年提言より抜粋） 資料3 仮案骨子 図書館の運営体制の見直しについて（1月18日・第3回図書館協議会定例会検討用・委員提出資料） 参考資料 市民意識調査の報告書（平成29年11月発行より抜粋） お知らせ 平成29年度東京都多摩地域公立図書館大会（ちらし）
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input checked="" type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input type="checkbox"/> 会議内容の要点記録

会 議 内 容

<p><u>1 諸報告</u></p> <p>○館長 11月13日の全員協議会の報告。資料1を説明 市民会館の方向性は、現在の施設を解体し官民連携事業を行っていく予定で検討中。中央図書館・田無公民館の方向性は、耐震補強及び施設維持改修を考えている。使用期間は耐用年数50年+10年程度とし、2035年まで使用する。事業費は約5億9千万円、課題は老朽化した施設の対応と簡易なレイアウト変更の検討をしていく予定。</p> <p>○委員 資料2は10年前に作られたプランとあるが、実行されなかったのですか。</p> <p>○館長 資料2は保谷駅前図書館の開館にあたって作成した案で、現状の施設を説明するために使用するため、本日参考資料としてお示ししました。</p> <p>○副会長 市民会館は年内に方向を決めると説明されていましたが、受ける業者がいればすぐ始めるのですか。</p> <p>○館長 30年度は予備調査を実施して検討していく予定です。</p>

- 副会長 800㎡は今の市民会館の施設より小さくなるのですか。
- 館長 ホールを除いて考えていますので、現状より小さくなります。
- 委員 収益型施設とはどんなものですか。公共エリアになるのですか。
- 館長 介護施設など現状の施設とは違う別な用途で一般業者が収益を得るような施設が考えられます。
- 委員 市民会館の施設の規模が小さくなるということは、現状のホールはなくなるということですか。
- 館長 そうです。市民会館には200㎡程度の多目的ホールをいくつか考えているようです。
- 会長 方針決定が3月末までに出されるということです。改修をして2035年まで施設を持たせる案を示されているのですが、5億9千万円で施設の整備がどれだけできるのかよくわかりませんが、レイアウト的には若干変更ができるという理解でいいですか。
- 館長 耐震補強と若干のレイアウト変更が可能という予算です。
- 委員 5の課題に挙げられているものと2の概要であげられている課題は概要2の(2)と5課題の(5)その他を解決するためには別に事業費がかかるという理解でいいですか。
- 館長 (5)はその他の課題です。別に予算が掛かります。
- 委員 5の課題の(4)は2の概要の(2)に含まれるのですか。
- 館長 そうです。5の課題の(1)～(4)はエレベーターやトイレ等が含まれています。
- 会長 協議会では、書庫の不足が最優先課題ですが、地下のピロティに蔵書庫を増やすことはできないのですか。
- 館長 現状の施設の面積は増やさないで行います。
- 副会長 学習室は絶対必要なのですか。
- 館長 学習室の要望はあります。
- 副会長 作る必要があるならば、学習室の場所は奥の方で安全性の面でよろしくないと思いますので、保谷駅前図書館のように外から見える状態の部屋にした方がよいと思います。
- 館長 例えば現状の公民館の事務室を学習室にするということも考えられます。
- 委員 図書館として必要なのは、本を読む、資料を利用できるスペースがあることで、その上で余裕があれば学習室を用意するならいいと思いますが、滞在型図書館を要求される中で、学習室の提供を優先することではないと思います。
- 副会長 中高生にとっては学習室が居場所なのです。学習室は誰のためのものとお考えですか。
- 委員 社会人が学習する場が必要だと思います。図書館の機能から言えば、基本的には資料や情報を提供する場なので、広く一般に情報提供するという意味でのスペースが求められています。学習室を図書館が背負わなければならないのかといえば、学校施設なども使うことができるのではないかといったような様々な施設の活用も考えていくことが必要です。受験生がたくさん来て図書館が発展したという例はなく、居場所の提供であって資料の提供ではないので、本来の図書館機能を果たすのは、施設に余裕がない中では優先すべき

は学習室ではないと思います。

- 副会長 限られたスペースの中で学習室が最優先事業ではないと思いますが、中高生の居場所という意味では学習室がわかりやすいと思います。ないことで図書館に自分たちの居場所がないと考えるかと思います。
- 会長 学習に特化した形ならば必ずしも図書館でなくていいというのはその通りだと思いますが、資料提供と全く無縁な自習室は図書館には不要とってしまうのはいかがでしょうか。今、世の中にある要求をどうとらえるのか、対応先がどこにもないならば図書館でもよいのではないか、子どもたちも含めた市民が何を図書館に期待しているのかということを見ると、自習室など、需要の多い要望に対して図書館が何も対応しないという話ではないとして、柔軟に考える必要があると思います。
- 副会長 限られた施設に学習室を設けるのであれば、安全性のことを考えて、人の目があることが大切で、今の公民館事務室の場所が適当だと思います。
- 会長 武蔵野市のように公民館がない自治体はどの施設の機能であるかという問題ではなく、場所を提供すればよいと考えればよかった。西東京市と事情が違うのでどこかの施設で対処していけばよい。
- 副会長 公民館は団体に貸出しする施設なので個人利用はしてない。
- 会長 3館合築の議論のなかでよいと思ったのが、図書館がやるべき範囲はここです、公民館のやるべき範囲はここです、個人利用はだめですよ、といったようなそれぞれの施設のきっちりした住み分けがある中で、3館の合築の議論ではどの施設からももれた市民要求に配慮した考えがあったのでその点はよいと思いました。
- 委員 1階の場所になると公民館の施設になりますか。
- 館長 決まっていません。皆さんから様々な意見を頂き検討していきます。本日は出来るかできないかという結論が出るものではないので意見をお聞かせください。
- 委員 書庫を外に出すことはできませんか。レイアウト変更改修をもっと大きくして、改修したことが市民に分かるようにした方がよいのではないですか。書庫を外に借りると維持管理の経費が掛かり難しいのですが、利用者の居場所の確保のメリットが望まれているのであれば、スペースの確保を図った方がよいという考え方もできるのではないかと思います。
- 副会長 資料を減らしてまでスペースの確保は今の施設では難しいと思います。
- 委員 5億円掛けても耐用年数が15年延びるだけというのは、市民の感覚から言うと無駄にならないのかと考えてしまいます。
- 副会長 15年の間にそれ以降のことを考えていかないといけません。
- 委員 本を読まない子どもが増えているご時世で、図書館に来たいという子がいるだけでも素晴らしいことで、このチャンスを生かしたい。学習室があるとか、人が集う健全な場所だということを市全体に知ってもらいたい。
- 会長 15年後に、誰が図書館に期待してくれるかと言えば、現状利用している子供たちが育って必要といえる施設であることが大切です。
- 委員 子どもたちの勉強を担う施設と考えれば図書館だと思います。調べたいときに本がある環境が大事であり、自分の味方だという取り込み方が必要だと思います。

- 副会長 2階の倉庫の部分を地域資料の書庫にして、2階の地域資料の書庫の部屋をレファレンスや地域資料のデジタル資料を利用する部屋に変更し、青少年から使える部屋にすることが良いかと思います。トイレについては、車椅子のトイレが1階にありますが、広くしていくのですか。
- 館長 大きな変更は可能かどうか含め、実施設計の段階でわかると思います。
- 委員 おむつ替えのベッドや子供用トイレがあるといいと思います。
- 副会長 3階の調整室と準備室はどう使うのですか。
- 館長 一緒にして一部屋作ることも考えています。
- 委員 図書館協議会と同じようにこうした会があるのですか。あれば同じように要求が出てきたのを調整していくということでしょうか。
- 館長 そうです。
- 委員 事業費はほとんどが耐震補強工事の費用ですね。
- 会長 図書館協議会としては、このようなところでよろしいですね。

2 図書館の運営体制のあり方の検討について

- 館長 資料3は会長、副会長と私でまとめたものです。
- 会長 図書館の今後の運営体制の見直しについて館長に意見を述べていかなければならないので、資料3に示したように、報告書としてはこのような骨子で作っていくのはどうかという提案です。この骨子自体、構成自体にご意見いただくことも大事ですが、どうやって図書館の経営管理ということより先に、中央図書館の機能含めて図書館が実践してきた内容を市民に知ってもらう、西東京市民として理想とする図書館はどんなものか、その図書館を実現していくためにはどのように経営していくことが必要かを書いていくと思っています。この10年の歩みについては事務局の方でまとめてもらいますが、協議会としては10年、20年先を見据えてどういう風にやってほしいのか市民の立場で考えていきたいと思っています。
- 副会長 一昨年、協議会で議論した中央図書館機能について検討したものを書く必要があると思います。今の場所を基礎として制約ある中で考えるだけではなく中央図書館が居場所になってほしいし、本だけでなく情報も含め中央図書館は責任をもって所蔵し、提供する場であってほしい。過去から未来への責任として、市民にとってどういう図書館が必要かを判断し、市民が要望したことを受け取って長期的な視野に立った計画を立案して実行してくれる人がいないと困る。資料についても使われないから捨てるのでは困るので、必要な選択をして安心して次の世代に資料を引き継いでいく責任を持った人がいないと困る、地域行政資料やここにしかない資料を次の世代に伝える、サービスの拡充として、個人で利用ができ、誰が来ても大丈夫な場所としての図書館は、これから本を読まない人が増えていく世の中にとって必要なもの、3館合築の議論の時、本と言わずに情報という言葉で議論されていたが、消えていく情報ではなく、後世に残す知的財産としての資料や情報を市民に提供する場が図書館であってほしい、家庭に本が無い状況が増えてきた中で、最初にお金をかけるのは本ではない家庭が増えている、市は子育てに関して力を入れている状況の中で、図書館が学ぶ拠点であってほしい。
- 会長 他にご意見があればお願いします。

- 委員 「これからの図書館への期待」は「充実」ということでしょうか。
- 会長 使う言葉についてはもう少し補足するなどして一般の人が読んでもわかる言葉にして行く必要があります。
- 委員 サービスの拡充の一言に、レベルの違うものが並んでいるのは違和感があります。中央図書館機能を書くことでその後の運営体制の見直しに係ることは理解できますが、これからの図書館への期待は大事なことなので、個別のやるべきことと分けて書かれた方がわかりやすいと思います。
- 委員 図書館が必要なのはわかるが、なんで本なのかということは入れないのでしょうか。本はこんなにいいものかということ、例えば「はじめに」に書き込むといいと思うのですが。装丁を含めた本の価値や意味があり後世に伝えていくべきではないかと思います。
- 会長 「過去から未来への責任」の中で、紙媒体のところで書いていってはどうでしょうか。
- 委員 本の特性を記すのであれば「はじめに」のほうがいいと思います。

(会長、増田委員退席)

- 副会長 予定時間を過ぎましたが、少し延長します。
マルチメディアデイズを使ってほしいと思います。文字と音が同時に流れるもので、図書館の講座で体験して、これは有効だと思いました。LDのお子さんなどには向いている媒体だと思いますし、有効ですので図書館で始めたほうがいいと思います。
- 委員 協議会委員になり理解できましたが、その前は知らない図書館のサービスが多くありましたので、図書館の宣伝が不足していると思います。調布市では、手に取りやすい大きさのカードにサービスのお知らせが書かれて、わかりやすく工夫されていました。必要な方に必要な情報が伝わっていないことが西東京市は多くあるので、例えば、宅配にしても本人が来館できなくても近所の方がそうしたカードを持ち帰り渡すなどの連携が図れるかもしれないと思うので、もっと工夫したほうがよいと思います。市報に宅配ボランティアの募集の記事がありましたが、そもそも市民は宅配サービスが何のことかわからないので、目につかないのではないかと思います。もっとわかりやすい宣伝をしてほしいと思いました。
- 委員 図書館に来てもらうことが大事です。誰もが来られるようなところにならなければいけないと思います。縁（ゆかり）の講演会などもよい企画で、図書館に来る取っ掛かりになるのだと思います。施設がきれいであれば、本を読むためだけでなく図書館に来てみる市民もいるとは思いますが、施設が古くて狭いなど不足があるとしても、面白い企画、みんなが興味を持つ企画があれば図書館に来るのではないかと思います。やはり企画力や広報力が必要で、図書館が自ら発信できる力が求められていると思います。協議会を通じて知らなかったことがわかりましたので、市民にも、もっと図書館を知ることができるような機会や意見が言えて交流できる場があるといいと思います。
- 副会長 田無市時代には利用者交流会を実施していたとお聞きしましたが、参加者

が少なく限られた人の参加しかなかったということなので、ターゲットを絞って、講演会の後に図書館のことを聞くなど、漠然とした利用者懇談会ではなく、参加しやすい機会を設ける工夫が必要だと思います。

- 委員 小学校のPTAや仕事をしている人だけの会とか、限定して意見が言えるような交流会ですね。
- 副会長 漠然と利用者交流会をして参加者が一人というような状況より、対象を絞って参加してもらい意見を言ってもらう場を考えた方がよい。
- 委員 図書館ホームページにポータルサイトを作成して、アクセスすれば市の情報をはじめ色々な情報に繋がり手に入れられる仕組みを作ることによって利用が増えると思います。
- 委員 子どもの読書活動については支援していますが、大人の読書会を支援するというのがありますか。大人の方は自分の読んだ本を紹介したいという要求があるのではないかと思いますので、協力してもらいたいと思います。
- 委員 ブックスタートのような事業は有効だと思います。図書館が居心地のいい場所と思ってもらいたいのに、非常にスペースが限られているのはきつい。ゆったりした空間にきて、ぼんやりして本を眺めることができるような、建物が魅力的というのは理想です。新聞はiPadで読みますが、装丁を含めた本の手触りが好きで、本は五感で読むものかなと思っています。追いかけるようにではなく、自分で考えながら、自分のペースで読むことができるのはとても大事なことです。子どもが絵本からスタートして、ゆったり時間を持つことができるようになった時に、五感や本の質感を体験したことが、インターネットで得る便利さや紙の本で調べる利点のそれぞれの良さを判断できる力となると思います。本や情報を経済力に関係なく使える施設として図書館は大事であり有効だと思います。
- 委員 装丁のきれいな本を展示する企画を開催したりすることで、本の重さや質感を体験することが子どもにとっては貴重なものとなると思います。
- 委員 行政に対するサービスに力を入れると、図書館に行けば政策作成時に利用できる施設としての図書館の意義が高まるのではないかと思います。
- 事務局 他に意見がございましたらお寄せください。

3 その他

- 副会長 勉強会を2月16日金曜日の午後2時から行いますので、ご都合のよい方はご参加ください。本日はこれで閉会します。

次回は3月7日（水）午後4時から